

マーガレット  
*Chrysanthemum frutescens* L.  
 (キク科)

宿根草で、挿し芽繁殖する。長日処理により年末から収穫が可能で、翌春まで出荷される。ピンクで八重咲きの品種もあるが、切り花用には白の一重咲き品種の生産が圧倒的に多い。収穫後の水あげがやや難しく、風が当たっていたり、いったん強く乾かすと水が上がりにくくなる。花束やアレンジに広く利用されるが、開花花序は悪臭を発する。水あげがうまくいくと、蕾が順次開花してくるので、日持ちは優れている。後処理剤は葉の黄変を促進する場合があるので使用しない。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
葉の萎れ・乾燥	A: 萎れなし B: 下葉がやや萎れる C: 葉が垂れ下がり激しく萎れる D: 褐変・乾燥する	乾燥した葉はチェック後取り除く、激しく萎れた段階で茎を切り戻す。
葉の黄変	A: 黄変なし B: 下葉の色があせてやや黄変する C: 黄変が進む D: 中位より上の葉が黄変して萎れる	
花序の開花・老化	A: 新たに蕾が開花してくる B: 評価開始時点で開花していた花序が老化する C: 蕾の開花がおおむね停止し、開花花序の1/3が老化する D: 開花花序の1/2以上が老化する	開花花序数、老化か序数を数える。各花序については、花卉の萎れによってC: 萎れる以降を老化花序と判定する。
花卉の萎れ	舌状花の花卉で A: 萎れなし B: わずかに萎れる C: 花卉が垂れ下がって萎れる D: 激しく萎れる	花卉は萎れた後、E: 乾燥する。
その他	花卉のシミ、茎の腐り、病害虫など。	花卉のシミの発生に注意

2) 留意点

いけ水につかる部分の葉は取り除く。いけ水には水を使用する。

マーガレットの花(蕾)は、舌状花(外側)と筒状花(内側)が集まった花序(頭状花序)であるので、ここでは1つの花を花序と呼ぶ。

収穫時点で花卉が濡れているとシミが出る。

横にすると花首が曲がりやすい。

乾式輸送された切り花を直接後処理剤に入れると障害(葉の萎れや黄変)が出やすい。

萎れが激しい場合には、茎の切り戻しを行う。

### 3) 開花



#### 4) チェック事項



B: わずかに萎れる



C: 花弁が垂れ下がり萎れる



D: 激しく萎れる

花弁の萎れ・乾燥



B: わずかに萎れる(軟)



C: 下葉の褐変・乾燥

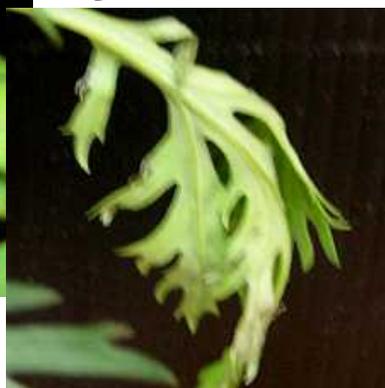


E: 乾燥する

茎葉の萎れ・褐変・乾燥



B: わずかに黄変



C, D: 黄変して萎れる



D: 激しく乾燥

葉の黄変